

日専連信条

小売商人は消費者の身近にいて、職能としての深い知識と、親しい隣人としての誠実さで消費者の経済をしっかりと守り、その日常生活をより豊かにして、暮らしよい明るい社会をつくることが与えられた使命である。そのゆえにこの職業が消費者のために在るものであり社会的に意義のあることを自覚し、我小売商人なりの誇りと喜びとに生涯をかけて悔いない。

商店は、この職業の真価が発揮されて、小売商人が在ることの意義が広く消費者に認められる場である。同時に「お客様」と愛称される消費者が、商品とその代価との取り引きを超えて、小売商人の美しい誠実さと深い思いやりとに心打たれ、友情の交換が行われる「信頼の場」である。

消費者が求めるものは、良品正価の保証と買い物の愉しさである。小売商人が消費者に信頼されるのは、この保証と、愉しいお買い物の中に入れてあるまごころのゆえである。従って、無駄のない経費とつましやかな生活とで、消費者の負担をでき得る限り軽くするよう努めることが、正しい報酬と永遠の繁盛をもたらす唯一の道である。

日専連は小売業を国民経済の上に重要な職能であると確信し、小売商人としての人格を磨き、たゆまざる精進と親類付き合いによる結合のもとに、経営の近代化をはかり協同の活動を推進し、奉仕の理想である真商道を実現せんとする組織である。